

What's New

非磁性体素材加工向けクーラント液濾過装置を発売。



クーラント液濾過装置
循環利用を可能に
ユーベックが開発

【名古屋】ユーベック（名古屋市中種区、植田修司社長、052・761・2728）は、非磁性体素材加工用の超精密クーラント液濾過装置を開発、受注を始めた。アルミニウムや超硬合金、セラミックス、シリコンといった素材の研削加工向け。発生する加工くずを取り除き、クーラント液の循環利用を可能にする。価格は処理能力が毎分500リットルのタイプで1200万円。

同装置は金属繊維製特殊フィルター、クーラント原液と水を混ぜ合わせる自動ミキシング装置、スラッジ回収用コンベヤーなどで構成。フィルターの材質をこれまでの化学繊維からステンレスに変更したことで、フィルター洗浄時に付着した加工くずをはがれやすくし、高い濾過精度を維持する。クーラント液中の粒径0.5マイクロメートル以上の加工くずを取り除く。

処理後のクーラント液は悪臭がなく良好な状態を長期間保つ。単体機械処理、複数台機械処理のどちらにも対応できる。

[本文]

【名古屋】ユーベック（名古屋市中種区、植田修司社長、052・761・2728）は、非磁性体素材加工用の超精密クーラント液濾過（ろか）装置（写真）を開発、受注を始めた。アルミニウムや超硬合金、セラミックス、シリコンといった素材の研削加工向け。発生する加工くずを取り除き、クーラント液の循環利用を可能にする。価格は処理能力が毎分500リットルのタイプで1200万円。

同装置は金属繊維製特殊フィルター、クーラント原液と水を混ぜ合わせる自動ミキシング装置、スラッジ回収用コンベヤーなどで構成。フィルターの材質をこれまでの化学繊維からステンレスに変更したことで、フィルター洗浄時に付着した加工くずをはがれやすくし、高い濾過精度を維持する。クーラント液中の粒径0.5マイクロメートル以上の加工くずを取り除く。

処理後のクーラント液は悪臭がなく良好な状態を長期間保つ。単体機械処理、複数台機械処理のどちらにも対応できる。

（写真）を開発、受注を開始。アルミニウムや超硬合金、セラミックス、シリコンといった素材の研削加工向け。発生する加工くずを取り除き、クーラント液の循環利用を可能にする。価格は処理能力が毎分500リットルのタイプで1200万円。

同装置は金属繊維製特殊フィルター、クーラント原液と水を混ぜ合わせる自動ミキシング装置、スラッジ回収用コンベヤーなどで構成。フィルターの材質をこれまでの化学繊維からステンレスに変更したことで、フィルター洗浄時に付着した加工くずをはがれやすくし、高い濾過精度を維持する。クーラント液中の粒径0.5マイクロメートル以上の加工くずを取り除く。

処理後のクーラント液は悪臭がなく良好な状態を長期間保つ。単体機械処理、複数台機械処理のどちらにも対応できる。